

## □要請番号 (JL63020A18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	H105 看護師	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ベイラ医療従事者養成学校

## 3) 任地 (ソファラ州ベイラ市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約15.0時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

保健省管轄下の医療従事者養成学校で、全国の主要7都市にある中級レベルの医療人材を養成する学校のうちの1つ。同校にはモザンビーク国に定められた10年間の教育課程を修了した学生500名が在籍している。看護師コースの他、薬剤師、臨床検査技師等の7つのコースがある。主なコースは2年制。同校は日本の無償資金協力により施設の一部が増築され機材供与の実績がある。しかし、2019年3月のサイクロンにより被災したため、2020年度に日本の支援で施設修復工事実施予定。過去に8名の協力隊員派遣実績がある。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

モザンビーク政府は保健医療サービスのアクセス拡大、サービスの質の向上を国家開発計画の最優先課題とし、全国の医療機関増設と医療従事者の養成を推進してきたが、ソファラ州が位置する中部地域でのニーズは依然として高い。日本政府もこれに応え、医療従事者養成学校の建設、実習機材や教材の供与、青年海外協力隊の派遣などの支援を行ってきた。また、技術協力プロジェクトでJICA専門家を保健省に派遣し、保健人材が持続的に養成される体制の整備を支援してきた。この度、同校から看護コース(2年)における授業の質の向上支援が求められ、本要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚と共に以下の活動を行う。

1. 看護師コースの講義および授業の改善
2. 病院実習の支援、改善
3. 実習室の整備や維持管理(5Sの推進)
4. 試験の準備・実施・採点の支援

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

人体模型、注射トレーニングモデル、患者ケアマネキン、診察演習機材等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

校長:50代、男性

全教員数:28名 (うち看護コース教員:8名)

活動対象者:

全校生徒:493名 (うち看護コース生徒:43名)

**5) 活動使用言語**

ポルトガル語

**6) 生活使用言語**

ポルトガル語

**7) 選考指定言語**

ポルトガル語(レベル:D)又は英語(レベル:D)

**【資格条件等】**

[免許/資格等]：（看護師）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同等の学歴が必要な為

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：配属先の要望

[参考情報]：

- ・臨床実習指導者の経験

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～40°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

**【特記事項】****【類似職種】**